

耐久性・軽量・環境配慮を兼ね備えた高品質屋根材

「マックス・ハイプルーフ」は、ハイグレードめっき・亜鉛アルミ合金を施したガルフレックス鋼板に、塗装用ポリマーの理想形といわれる80%フッ素樹脂を塗装した製品。地震に強く通気性がよい理想的な屋根瓦で、施工も容易である。

①高い換気性で結露を防ぐ

自然対流による通気を可能にした新技術「通気構造」により高い断熱効果、結露防止効果を得ることができる。また台風などの強風にも優れた効果を発揮する。

②軽量で建物全体への荷重負担が少ない

日本瓦（46kg/m²）の1/6、彩色平板スレートの1/2以下の軽さで住まいへの負担も少ない。また屋根が軽くなるので地震に対しても高い効果がある。

③優れた耐久性・防水性

台風時における耐久性と高水密性が「建材試験センター」の実験で実証されている。

- ・耐風圧試験：-940kgf/m²（実風速120m/秒）
- ・水密性試験：風速45m/秒（実風速90m/秒）

※ガルフレックスはJFE鋼板株式会社の登録商標



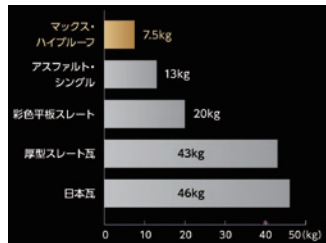
施工後



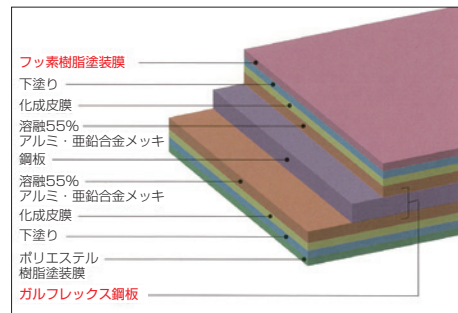
施工前

平板スレートのカバー工法によるリフォーム例

■1㎡当たりの重量比較



■マックス・ハイプルーフの構造



【ガルフレックス鋼板】

マックス・ハイプルーフの基材に使用されるガルフレックス鋼板は、アルミ55%と亜鉛43%による合金めっき鋼板。裸のままでも使用できるほどの高い耐蝕性・耐久性・耐熱性を誇る。特に耐蝕性は亜鉛めっき鋼板の数倍もあり、また750℃で10分間の燃焼試験に合格し、国土交通大臣認定の不燃材[※]としても登録されている。

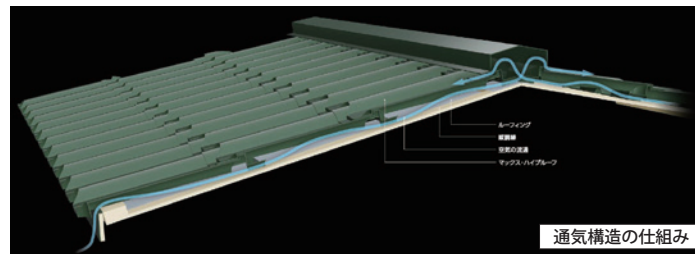
※不燃材 認定番号：NM-8697

【フッ素樹脂塗装】

フッ素樹脂塗装は、科学的・物理的・機械的、さらに熱や光にも極めて安定しているため、耐候性・耐薬品性・耐蝕性・耐汚染性などほかの塗料に比べあらゆる面で優れている。マックス・ハイプルーフは、フッ素含有率を80%に高めることでこれらの特性の強化を図っている。

■マックス・ハイプルーフの技術と性能

◎熱貫流効果



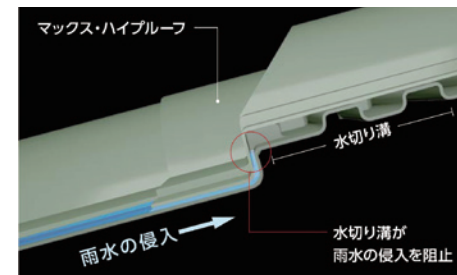
施工の際に既存の屋根との間に空気流通層をつくるため、屋根裏の空気が循環し既存屋根下を外気温とほぼ同じに保つことができる。

◎結露防止効果



縦杭木を使って施工することで、内側に軒先から棟に向かって外気が流れる空気層を形成。結露が起きないため、雨漏りや屋根下地の腐食を防止し、住まいを傷める心配がない。

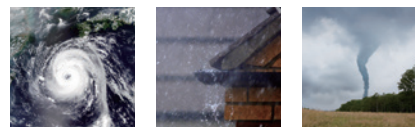
◎毛細管現象防止効果



独自の水切り溝により、毛細管現象で浸入してくる雨水をシャットアウトし、雨漏りを防止する。

■自然災害（地震・台風・ゲリラ豪雨・竜巻）への備え

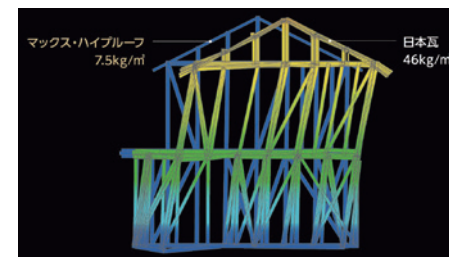
南北に長い日本列島では四季の温度変化も大きく、地震に加えて近年増加している大型台風やゲリラ豪雨、竜巻などの脅威は無視できない。軽量で耐久性のあるマックス・ハイプルーフは、こうした過酷な自然環境や災害への備えに最適な屋根材である。



台風

ゲリラ豪雨

竜巻



マックス・ハイプルーフと日本瓦の耐震シミュレーション。マックス・ハイプルーフを使用した場合、家屋の揺れを大幅に軽減できることが分かる。

問い合わせ先

マックス建材株式会社 Tel.045-633-1351 <https://www.maxkenzai.co.jp/>